



たきおっ子

R8.10.13



川で学べる環境があるありがたさを感じて

9月から10月にかけて、1・2年生、3・4年生は、生活科や総合的な学習の時間で「川遊び」「川探検」を行いました。

それぞれの担任が「学校の前に川があることを生かした学びを子供達にさせたい。」といった思いや願いを持ってくださっていることも嬉しく思います。そして、その担任の思いや願いを叶えてくださる地域の方々がいらっしゃいます。1・2年生の川遊びの際には、徳島さん・佐方さんのおかげで、「手作りイカダ」が登場し、お2人にも活動に参加していただきました。改めて、川で学べる環境があることに、ありがたさを感じました。先生方・地域の方々ありがとうございます。



子供たちの「心のケア」の取組について

令和8年熊本地震後から、子供たちの「心のケア」を根底に据えて教育活動を進めてきました。現在の「心のケア」に関わる取組について紹介いたします。

① 「心の健康観察」

この取組は、令和8年熊本地震発災以前から、御船町全小中学校で運用に向けた準備を進めてきました。子供たちが学校で、毎日の心の状態をタブレットに入力する方法です。入力されたデータは、全職員が確認できるようになっています。変化が見られるなどサポートが必要だと判断した児童に対しては、個別に声かけや面談などの対応をしています。その情報は全職員で共有し、チームで対応しております。

② 「心のサポート授業」

地震による様々な影響を受けた子供たちが安心して学校生活を送ることができるよう、防災について学ぶとともに、心のケアにも取り組む授業です。10月15日に、全学年で実施します。授業は、担任だけでなく、養護教諭やスクールカウンセラー等と連携・共同で行います。

③ 「保護者向けアンケート」

「心のサポート授業」に向けて、地震後の子供たちの家庭での様子について保護者の皆様にアンケート回答をお願いしました。回答いただいた子供たちの家庭での様子についても、全職員で共有しています。余震が続く中、子供たちの安全・安心への取組を学校全体で行っていきます。